



平成29年5月10日

各位

上場会社名 株式会社 アイビー化粧品
 代表者 代表取締役社長 白銀 浩二
 (コード番号 4918)
 問合せ先責任者 取締役 経理部 部長 兼 経営管理部 部長 中山 聖仁
 (TEL 03-6880-1201)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年9月28日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,400 ～8,200	1,800 ～2,200	1,800 ～2,200	1,100 ～1,400	277.42 ～353.08
今回修正予想(B)	6,664	1,090	1,099	606	153.57
増減額(B-A)	△1,536 ～△736	△1,110 ～△710	△1,101 ～△701	△794 ～△494	
増減率(%)	△18.7 ～△9.9	△50.5 ～△39.4	△50.0 ～△38.9	△56.7 ～△44.9	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	5,163	630	625	349	88.24

修正の理由

平成29年3月期の連結会計年度におきましては、平成28年9月に発売した「レッドパワー セラム」および平成29年2月に発売した「ディーブパス」シリーズ、「ディーブパス QD」シリーズ(医薬部外品)、「アイビー プレステージ」シリーズが好調に推移し、販売会社からは上代金額(注1)で200億円超のご注文を頂きました。

しかしながら、上代売上(注1)を200億円よりも高い数字を予想していましたが、数字が伸び悩みました。また、販売会社に対する掛率が想定よりも低くなったこと、販売会社に支払う売上割戻(販社リファンド)が想定よりも多くなったこと、ならびに注文頂いた製品のうち、翌期以降に計上する金額が多くなったため、過去最高売上高を更新する見通しではありませんが、平成28年9月28日に公表しました予想を下回る見通しです。

一方、利益面におきましては、売上高が予想を下回った影響が大きく、過去最高益を更新する見通しではありませんが、同様に平成28年9月28日に公表しました予想を下回る見通しです。

そのため、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益予想につきまして、上記のとおり下方修正致します。

(注1)上代売上(金額)とは、製品の定価ベースで計算した売上(金額)です。会計上の下代売上とは異なります。下代売上は、上代売上に販売会社ごとに掛率を掛けて計算し、売上控除すべきものを差し引いて算出致します。

(注2)当社は、平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の株式併合を行い、平成29年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合及び株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

以上